

2020年8月28日

草津保健所及び各市(草津市・栗東市・守山市・野洲市)介護保険セクション担当への協力依頼

滋賀県南部介護サービス事業者協議会
会長 成瀬 和子

1. 衛生備品備蓄について(B-ICAT stockroom より)

各事業所においては、衛生備品の備蓄を行い、感染予防対策を講じることを前提に、クラスター発生時、応援派遣チーム動員時(緊急事態)には、不足するであろう衛生備品の備蓄をお願いしたい。保管場所においては、クラスター発生地域により即時対応(搬送)できる場所として、各市行政及び保健所において備蓄保管とされたい。なお、運搬作業など生じた際には、県及び市において提携等している運送会社等又は管内運送会社や宅配業者などへの協力要請をお願いしたい

2. 研修体制の構築(B-ICAT school より)

感染対策の一環として、各市及び圏域における新型コロナウイルスにおける研修及び現地での発生時のシミュレーション(ゾーニングや消毒方法など)研修、及び介護支援専門員向け(各市)のサービス調整シミュレーション研修の実施協力をお願いしたい。また地域住民向けの新型コロナウイルスへの感染対策や正しい理解と対応の啓発をお願いしたい。とりわけ感染が拡大された場合など地域住民や介護事業所への誹謗中傷といった事象が発生しないためにも、モラルとマナーを徹底した啓発や、メンタル面でのフォローアップ体制(相談窓口)などの設置も合わせてお願いしたい。集团的研修は3密回避など開催困難な状況下にある中、オンライン研修を積極的に導入されたい

3. 応援派遣チーム構成への事務局体制の構築(B-ICAT team より)

滋賀県南部介護サービス事業者協議会では、滋賀県健康福祉部長からの応援職員の派遣(依頼)を受け、チームの設立及び、休業事業所が発生した場合の利用者の受入体制の構築を目指している。チーム設立に向けた事務局を設置し、機能させていくため、地域事情を把握されている各市の担当者及び圏域担当者と共同にて事務局体制を図ることから事務局要員の選任をお願いしたい。

4. 感染拡大による介護崩壊を防ぐため、身近なケア付き宿泊療養施設の設置

(B-ICAT sanatorium より)

入院ベットの拡大や、軽症者向けの宿泊療養施設の拡大に伴って、とりわけ認知症高齢者など日常的に専門的ケアが必要となる要支援・要介護専用のケア付き宿泊療養施設の設置を積極的にお願いしたい。また圏域及び各市において休止状態にある施設や宿泊設備を要する場所として選定の検討にあたっていただきたい。なお選定にあたっては、個室を原則とされたい。

5. 資金確保(B-ICAT charity より)

上記を実行していくうえで必要となる予算の確保をお願いしたい

具体的には、国からの予算として出されている「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業」および「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(介護分)」の積極的活用はもとより、県および各市独自の感染防御資材(衛生備品等)の確保と備蓄、陽性反応が出た要支援・要介護高齢者専用のケア付き宿泊療養施設の確保、クラスター発生時の対応介護職員等の宿泊施設の確保、応援派遣にかかる諸経費など、必要な予算の確保をお願いしたい。

6. 誹謗中傷・風評被害への対策

新型コロナウイルスについて、感染拡大防止や感染の脅威についての報道などに接する機会から、多くの方が不安を抱えていることと思われる。そのような状況下、感染者の特定などの犯人探し、感染した人やその家族、介護従事者や、サービス利用者、介護事業所への誹謗、中傷が広がっている。また、過度な不安によって事業者や、従事者及びその家族への風評被害も併せて広がっている状況にある。正しい情報に基づいた冷静な行動を促すなど、市民啓発をお願いしたい。

最後に、要支援・要介護高齢者がその尊厳を保持し、自立した日常生活を営む(介護保険法第1条)ためには、感染対策に限らず、医療や他の生活支援サービス、地域における取り組みとの連携・共同が不可欠であり、これら多様な主体・取り組みをつなぎ、コーディネートするなど、行政のリーダーシップを期待する。